

※この資料は「北陵中学校のグランドデザイン」について、「校訓」と「教育目標」のほか、目指す生徒像に関する「知の柱」「徳の柱」「体の柱」それぞれの具体的取組を記載したものです。

北陵中学校 グランドデザインの具体（学校経営方針の骨子）

校訓 「よりよく創る」

教育目標 「小樽の未来をつくる 北陵生の育成」

○深く学び、考え、表現できる生徒 ○豊かに人とつながり、思いやりのある生徒 ○たくましく心身を鍛え、自らを律する生徒

※教育の目標は社会に有為な人材を育てることにある。その根幹を貫くのは今よりもさらにもっと向上心である。「創る」とは「ゼロ」からの創造である。熟考し、人と知恵を出し合い、あるべき姿を追い求め、形として表すことがこれからの時代を生き抜く子どもたちには必要な力である。世界に羽ばたく北陵生となるべく、3つの人づくりを目標として掲げる。

知の柱

徳の柱

体の柱

「英語教育」、「ふるさと教育」、「命の教育」

○学校の取組

1：学力向上

- ①各種調査、検査結果の分析と授業改善（研修とのつながり）
- ②教師の授業力の向上（ユニバーサルデザイン、アクティブラーニングの推進、校内研修の活性化）
- ③個別指導の充実（習熟度別指導の導入による個に寄り添う指導）
- ④学習室「北陵塾」の開設（放課後、長期休業中の学習指導）
- ⑤キャリア教育、進路指導の充実（進路相談担当による個別指導）
- ⑥小中の連続に責任をもつ指導（「3校連携部会」による9年間の教育課程、学習規律づくり）

2：英語教育の充実・強化

- ①中学校英語教育推進事業の活用（ALTの隔週配置）
- ②英検受験の推奨
- ③小樽商大との連携（アクティブラーニングの研究、留学生の活用）

3：特別支援教育の充実

- ①合理的配慮に基づく支援の充実（個別の支援計画等を活用した保護者との連携）
- ②校内支援委員会の機能を高める（支援が必要な生徒への全校的な共通指導）

4：家庭学習の定着

- ①家庭学習の仕方指導（「学習の手引き」等の作成と指導、点検の徹底）生活リズムチェックシート等の活用
- ②小樽市のルール「おたるスマート7」の指導

○家庭の取組

1：家庭における生活リズムの確立

- ①家庭学習親子のルールづくり
- ②生活リズムチェックシート等の点検
- ③学習環境の整備
- ④小樽市のルール「おたるスマート7」の点検

○地域の取組

1：学習支援活動

- ①放課後学習や長期休業中の学習支援
- ②図書館整理等、学習環境にかかわる支援

2：職場体験支援

- ①北小樽地区の企業との連携

3：出前授業

- ①総合博物館との連携
- ②キャリア教育講師等の支援

○学校の取組

1：生徒指導方針の徹底

- ①学校組織としての生徒指導の徹底
- ②「とらえる」「ほぐす」「みちびく」「のぼす」「はなす」指導の意識化・共有化（生徒の安心感）
- ③情報の共有化と指導方針の統一
- ④月別生徒指導計画と実践（育てる指導）

2：道徳教育の充実

- ①「議論する」道徳の授業づくり（道徳的実践力を高める指導）
- ②規範意識の向上（礼儀、作法、マナー指導）
- ③ふるさと教育の推進（北小樽地区の伝統芸能である「越後盆踊り」の継承）
- ④効果的な情報教育（コンピュータ等の適切な活用能力の向上）

3：いじめ問題、不登校等への対応

- ①自尊心を高める学級経営
- ②アンケートや客観的なデータに基づく指導
- ③教育相談の充実（生徒、保護者への積極的な相談活動の実施）
- ④小樽市の取組への積極的な参加
- ⑤保健所、子育て支援との連携
- ⑥スクールカウンセラー等を活用した研修

4：読書活動の推進

- ①朝読書の取組
- ②「家読」の啓発
- ③開かれた図書館運営（学校支援ボランティアの協力）
- ④生徒会図書委員会活動の充実（小樽市立図書館、図書館司書との連携）
- ⑤小学校及び関係機関等との連携による読書活動の推進

5：生徒会活動の活性化

- ①学級活動を基盤とした生徒会活動の充実
- ②PTA活動と連携した取組
- ③地域貢献活動の推進（桜陽高校等との連携）
- ④老人ホーム等への慰問など

○家庭の取組

1：会話を大切にしたい子育て

- ①親子で一緒に出来ることを増やす（趣味、スポーツ、読書、家事、ボランティアなど）
- ②学校、地域の行事への積極的な参加（子どもたちの周りの方々とのつながりをつくる）

2：親子で進める情報モラル運動

- ①小樽市のルール「おたるスマート7」の徹底
- ②情報モラル教室、ネットパトロール体験会への参加

○地域の取組

1：ふるさと教育支援活動

- ①北小樽地区の歴史、伝統、文化の伝承

2：地域ボランティア活動

- ①PTAと生徒会活動の連携（清掃活動、植栽活動等）

○学校の取組

1：体力向上のための体育授業の工夫・改善

- ①日常の基礎体力作り（新体力テストの複数回実施による変容を実感させる取組等）
- ②陸上大会の実施（手宮陸上競技場の活用）

2：命の教育の充実

- ①防災教育の推進（校舎の立地を考慮した土砂災害、津波被害に対応など）
- ②安全教育の徹底（登下校指導、地域、保護者とのHP・メール等を活用した迅速な連絡体制の確立など）
- ③健康教育の推進（性教育、薬物乱用防止、飲酒・喫煙防止にかかわる外部指導者の活用等）
- ④保育園、幼稚園との連携による保育指導の工夫（家庭科における保育実習や職場訪問など）

3：生活習慣の改善

- ①食育指導の工夫（自ら食事をつくるなど栄養管理ができる生徒の育成等）
- ②スマホやゲーム等の使用と健康面を考えさせる指導の充実（客観的なデータ等の活用）

4：心と体を鍛える部活動の推進

- ①目標を明確にした主体的な活動（学習との両立）
- ②部活動を支えるPTA活動（保護者の理解と協力）
- ③桜陽高校等との連携（施設の活用、合同練習等）

○家庭の取組

1：望ましい食習慣、運動習慣の形成

- ①「早寝早起き朝ごはん」の取組
- ②ゴミ捨て、掃除、洗濯、雪かきなど体を動かす家事の役割分担
- ③家族で一緒に取り組める軽運動の工夫

2：健康管理

- ①手洗い・うがいの習慣化
- ②天候に合わせた服装の指導（肌着、外套等）
- ③ほけん便り等の活用

○地域の取組

1：安全指導における地域の見守り活動

- ①学校の「挨拶運動」と連携した「声かけ運動」
- ②危険な行為や非行行為の学校への連絡協力
- ③学校行事への積極的な参加

2：部活動の外部指導者の協力

- ①地域在住の指導者の協力

3：地域産業と食を考える取組

- ①水産加工業、観光等の現状とまちづくりについて（職業講話等の実施）

○その他

「コミュニティースクール」「連携型小中一貫校」「土曜授業」の導入など、道や市の教育政策を受けて今後検討